

## 高知市立城西中学校と協働連携した教育心理学研究室における学びの新しいかたち

### 【概要】

高知大学教育学部教育心理学研究室では、学校および教員の抱える負担軽減、学びの主体者である中学校生徒の更なる可能性を育むことを目指し、高知市立城西中学校と協働連携した新たな学習支援を「準正課活動」として11月より実施しています。具体的には、参加大学生のニーズと城西中学校のニーズを調整し、参加大学生の主とする教科（国語と数学）の授業中の支援・その他の様々な学校側の求める支援それぞれ1時間の総計2時間を最低1セットとして11月から週に1回程度実施するものです。特筆すべきは、当該活動は、「高知市立城西中学校学校運営協議会」において了承がなされたことです。そのため、城西中学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む上で必要な1つの活動方策として認められて実施されることとなります。

なお、当該準正課活動では、教職志望学生のニーズを満たす教育実践の保証だけでなく、省察の「場と時間」を多角的に確保し、教育心理学的に学びを深めることを目指しています。

### 【事前オリエンテーションの様子】



城西中学校中屋教頭先生と参加大学生により、10月30日に事前オリエンテーションが実施された様子の一部です。城西中学校の週案および時間割に基づき支援する具体的な方策を協議するだけでなく、助言指導を受けています。

なお、事前オリエンテーションの1週間前の10月23日には、青木校長先生と中屋教頭先生と2名の学生による打合せ・面談も実施されました。

### 【参加大学生の捉える『活動のポジティブ面』と『想定している学びのあり方』】

#### ・中学校数学教諭志望学生

城西中学校の活動で最も楽しみなことは、教師の問いに対しての生徒の反応です。授業内容が理解できない生徒はどこで躓いているのか、私自身が予想できていなかった生徒の反応はどのようなものがあるのかについて身近で学ぶことができることが楽しみです。また、教師の授業構成や授業力についても学ぶことができることも楽しみです。私はこの活動を通して、生徒の実態に応じた教育についても学べるのではないかと考えています。

#### ・中学校国語教諭志望学生

私が城西中学校の活動で楽しみにしていることは、教育実習を行った附属中学校とは異なる公立中学校の実態を見学することができることです。自分自身、公立中学校を卒業し、大学卒業後も公立中学校での採用を目指しています。そのため、現場の先生方の姿を教育実習以外にも拝見できる機会がいただけるのをとても楽しみにしています。今回の活動を通して、私は先生方の指示の仕方に特に着目して学んでいきたいと考えています。「指示」は、私が教育実習中に最も課題であると感じた点です。この他にも、授業内外問わず臨機応変に対応している先生方の姿勢を学んでいきたいと考えています。